

NHGRI、10月からの組織再編を発表（9月10日）

国立保健研究所（National Institutes of Health）所属機関の1つである国立ヒトゲノム研究所（National Human Genome Research Institute：NHGRI）は、9月10日に行われた第66回ヒトゲノム研究諮問委員会（National Advisory Council for Human Genome Research）で、2013年度が始まる10月1日から施行される組織再編について発表した。

今回の組織再編はゲノム研究の規模拡大を反映するもので、NHGRIの外部研究プログラムを分割し、①ゲノム科学局（Division of Genome Sciences）、②ゲノム医療局（Division of Genomic Medicine）、③ゲノム学及び社会局（Division of Genomics and Society）、④外部委託事業局（Division of Extramural Operations）の4局が新設されることになる。

①は基礎的ゲノム研究及び技術開発を監督し、②はゲノム学の医療科学や臨床ケアへの応用の促進を担当する。③はゲノム研究の社会的問題に関わるプログラムを実施し、④は外部委託事業全般の運営を担当するとともに、助成金の管理及び科学的評価を担当する。

それ以外では、「政策・広報・教育室（Office of Policy, Communication and Education）」が「政策・広報・教育局（Division of Policy, Communication and Education）」に昇格して、政策立案から法務・広報・教育的アウトリーチ活動まで広く対応することになる他、「事務管理室（Office of Administrative Management）」も「事務局（Division of Management）」に昇格し、財務・事務サービス・ITなどを幅広く監督することになる。

National Institutes of Health, NHGRI reorganized to meet expanding research mission
<http://www.nih.gov/news/health/sep2012/nhgri-10.htm>